

平成 17 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 本 間 良 輔
(コード番号 4321 東証1部)
問 い 合 せ 先 取締役兼執行役員CFO 吉 川 泰 司
電 話 番 号 (03) 3519-2530

平成 17 年 12 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 2 月 15 日の決算発表時に公表した平成 17 年 12 月期 (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日) の中間期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期の業績予想の修正 (平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日)

(1) 連結

(単位: 百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	3,700	1,990	1,160
今 回 修 正 (B)	5,500	2,900	1,700
増 減 額 (B - A)	1,800	910	540
増 減 率 (%)	48.6	45.7	46.6

ご参考: 前中間期の実績 (平成 16 年 1 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

前中間期の実績 (A)	2,952	1,548	923
---------------	-------	-------	-----

(2) 単体

(単位: 百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	2,650	1,590	990
今 回 修 正 (B)	3,670	2,630	1,840
増 減 額 (B - A)	1,020	1,040	850
増 減 率 (%)	38.5	65.4	85.9

ご参考: 前中間期の実績 (平成 16 年 1 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

前中間期の実績 (A)	2,181	1,177	708
---------------	-------	-------	-----

2. 修正の理由

当期においても物件取得が順調に進み、当社の中間期末のアセットマネジメント受託残高は約3,000億円に達しました。この結果、不動産ファンドからの物件取得に係るアキュジションフィー及び物件保有期間中のアセットマネジメントフィーが当初の予想を上回る結果となりました。

一方、ファンドの物件売却も好調であり、アセットマネジメント事業及び債権投資マネジメント事業の両部門において、成功報酬であるインセンティブフィーが増加した他、自己勘定投資物件の売却益が当初の予想を上回る結果となりました。

上記の結果、営業収益、経常利益及び中間純利益が予想を上回る見込みとなったため、中間期の業績予想を修正することといたしました。

また、単体の業績予想修正については、上記の事業展開上の要因に加え、当初の予想では見込んでいなかった子会社からの配当金が多額に計上されたことも要因の一つとなっております。

なお、通期の業績予想につきましては、下期の業績予想を検証中であり、必要に応じて修正することといたします。

以 上